

読む得! 在宅医療と介護の連携

～身近な事例から～ 第19回

服薬管理の支援

薬剤師に相談したことで適切な服薬管理になり 家族の負担を軽減できたケース

1人暮らしのAさん（80代）は認知症の症状が進み、薬の正しい服用ができなくなりました。そこで娘のBさんが毎週訪れ、Aさんの自宅にある「ポケット付きお薬カレンダー」に薬を準備することになりました。しかし、通院している3つの病院から合計10種類もの薬が処方されているため、Bさんにとって薬の準備が大きな負担になっていきました。

この状況をかかりつけ薬局に相談したところ、3つの病院の全ての薬を1袋にまとめ（一包化）、薬剤師が自宅を訪問してお薬カレンダーにセットすることを提案されました。その結果、Bさんの負担が軽くなっただけでなく、薬が一包化されたことで飲み忘れがなくなり、Aさんは正しく薬を飲めるようになりました。

服薬のための相談は薬剤師に！

自宅を訪問し、服薬するための工夫を教えてください。「正しく内服できていない」「家族の負担が大きい」など心配な場合は、かかりつけ薬局の薬剤師・担当医・ケアマネジャーにご相談ください。

